

# 管内鉱山等の保安状況について

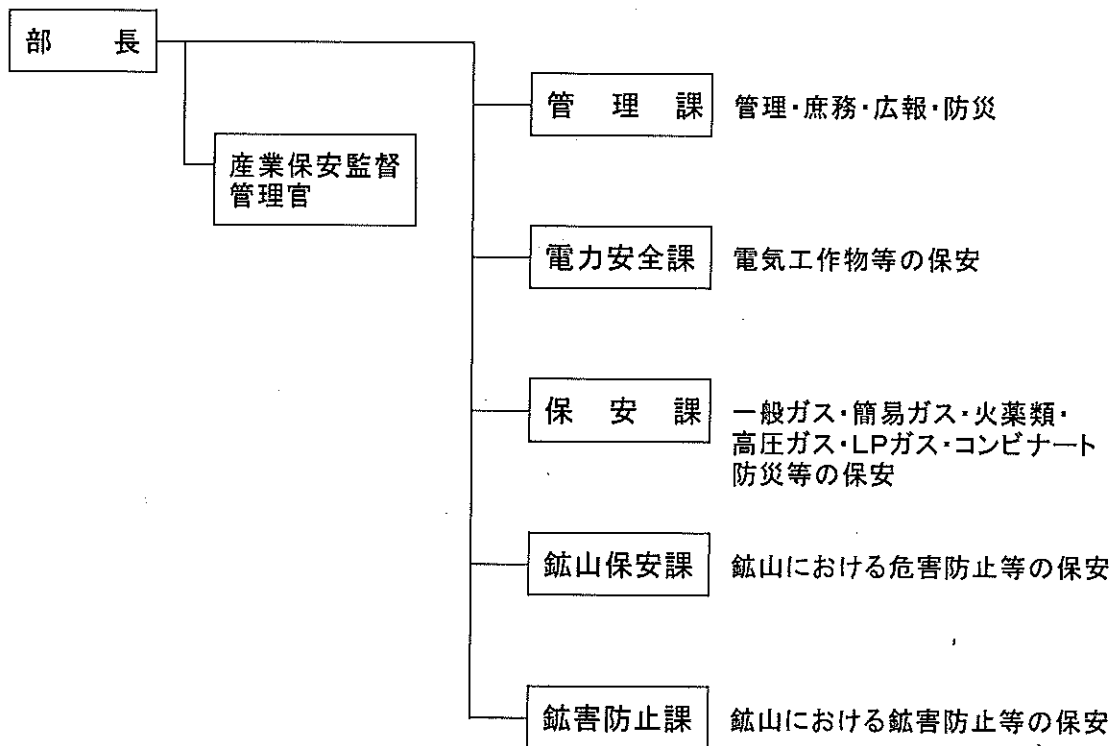
平成24年11月6日

中国四国産業保安監督部

## I. 中国四国産業保安監督部の概要

中国四国産業保安監督部は、電力、都市ガス、火薬類、高圧ガス、鉱山等に関する安全確保を目的に、各事業者による自主保安を前提に、厳正な監督・検査等を行っている。

### 1. 組織



### 2. 管轄区域

管轄区域は中国地域及び四国地域であるが、四国地域は四国支部において分掌している。  
(電力関係は、中国地域外に一部管轄区域あり。)

## II. 管内鉱山等の保安概況

### 1. 稼行鉱山数等

#### (1) 稼行鉱山数及び鉱山労働者数

	鉱山数(※1)	鉱山労働者数(人)(※2)		
	23年12月末	21年12月末	22年12月末	23年12月末
金属	1(+3)	91	92	96
非金属	19	207	193	195
石灰石	37	1,015	1,028	1,021
石炭・亜炭	0	0	0	0
計	57(+3)	1,313	1,313	1,312

(※1) 鉱山数の(+3)は、休止鉱山の坑廃水処理等で労働者が在籍する鉱山数。

(※2) 鉱山労働者数には、(※1)に係る労働者数を含む。

#### (2) 規模別稼行鉱山数(平成23年12月末現在)

	金属	非金属	石灰石	石炭・亜炭	計
1～9人	1(+1)	11	19		31(+1)
10～49人	0(+1)	8	11		19(+1)
50～99人	0(+1)		6		6(+1)
100～499人			1		1
500人以上					0
計	1(+3)	19	37	0	57(+3)

(※1) 鉱山数の(+α)は、休止鉱山の坑廃水処理等で労働者が在籍する鉱山数。

### 2. 立入検査等実施状況(平成23年度実績)

	立入検査			特別検査	39条命令調査	計
	保安検査	鉱害等検査	その他検査			
金属・非金属	16	27	12	1	1	57
石灰石	21	18	2	7	0	48
石炭・亜炭	0	0	0	0	0	0
計	37	45	14	8	1	105

### 3. 災害・鉱害の発生状況

#### (1) 災害発生状況

項目 鉱種別	年	災害 回数	罹災者数				100万人当たり 災害率(※1)	強度率 (※2)
			死亡	重傷	軽傷	計		
金属・非金属	19	0				0	0	
	20	1		1		1	14.3	
	21	1				0	0	
	22	0				0	0	
	23	1			1	1	16.7	
石灰石	19	1				0	0	
	20	3		3		3	10.9	
	21	5		3	1	4	16.1	
	22	8		3	3	6	23.8	
	23	6	1	3	1	5	23.4	
計	19	1				0	0	
	20	4		4		4	11.6	
	21	6		3	1	4	12.8	
	22	8		3	3	6	19.1	
	23	7	1	3	2	6	22.2	

(※1) 100万人当たり災害率＝罹災者数／稼働延人員×100万

(※2) 強度率＝損失日数／稼働延時間×1,000

#### (2) 事由別罹災者数

事由別	年	19	20	21	22	23	合計(%)
落盤・浮石						1	1 5.0
運搬	コンベアのため		1		1		2 10.0
	車両系・自動車		1		1		2 10.0
機械			2				2 10.0
墜落				3	2	3	8 40.0
転倒						1	1 5.0
取扱中の器材鉱物等							0 0
粉じんのため					1		1 5.0
その他				1	1	1	3 15.0
合計		0	4	4	6	6	20 100

➤ 平成19年から23年までの5年間では、墜落による罹災者が最も多く(8名、40.0%)、次いで運搬装置による罹災者が多い(4名、20.0%)。

➤ 平成19年から23年までの5年間では、罹災者を伴わない災害として、火災が3件及び発破飛石が3件発生している。

### (3) 鉱害関係事象の発生状況

事由別	鉱種別	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年
坑廃水	金属・非金属		1		1	3
	石灰石		1			1
	小計	0	2	0	1	4
その他	金属・非金属				1	
	石灰石					
	小計	0	0	0	1	0
合計		0	2	0	2	4

#### 【鉱害関係事象の内容】

- 平成20年の「坑廃水」は、
  - ①重油配管フランジ部のパッキン破損により、重油が河川に流出したものの。
  - ②コンクリートトラフ内の重油配管及び同トラフに発生した亀裂等により、重油が地下に浸透し海洋に流出したものの。
- 平成22年の「坑廃水」は、降雨時に処理しきれなくなった原水が河川に流出したものの。「その他」は、豪雨により、たい積場法面の一部が崩壊し、崩壊土砂が集積場直下の沈砂池に流入したものの。
- 平成23年の金属・非金属「坑廃水」は、いずれも、大雨・台風時に処理原水が増え、処理対応の遅れ等により河川に流出したものの。  
石灰石「坑廃水」は、排水処理場へ送水するための水中ポンプの故障により、集水ピットから白濁水が河川に流出したものの。

### (4) 災害・鉱害発生後の情報提供

- 鉱業権者が現況調査及び見直し作業を行うに際して有用な情報として、災害・事故情報及びリスク低減対策等の情報を水平展開(A、B)として提供している。
- 水平展開Aは、災害発生後遅滞なく、災害の概要を鉱山に提供。
- 水平展開Bは、災害発生2か月後をめぐり、災害の概要のほか、発生原因及び対策についても提供。

#### 4. 休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助事業

##### (1) 義務者不存在鉱山への補助金交付状況

###### 【坑廃水処理】

年度	交付件数	工事費(千円)	補助金額(千円)	備考
H19	2(※1)	115,915	86,935	
H20	2	101,677	76,257	
H21	2	176,810	132,606	
H22	2	108,219	81,163	
H23	2	150,046	111,416	

(※1) 交付先事業主体(自治体): 鳥取県、備前市  
 鳥取県: 岩美鉱山(銅)  
 備前市: 元山鉱山(ろう石)、共栄鉱山ほか4(ろう石)

###### 【鉱害防止工事等】

年度	交付件数	工事費(千円)	補助金額(千円)	備考
H19	1(※2)	15,839	11,879	
H20	1	6,443	4,832	
H21	0	0	0	
H22	0	0	0	
H23	0	0	0	

(※2) 備前市(椋銀井谷鉱山 たい積場鉱害防止工事)

##### (2) 義務者存在鉱山への補助金交付状況

(現鉱業権者による鉱業の実施に起因しない坑廃水についての処理費用を補助)

年度	鉱山数	工事費(千円)	補助金額(千円)	備考
H19	3(※3)	76,201	26,136	
H20	3	89,107	29,829	
H21	3	86,539	29,103	
H22	3	86,207	28,494	
H23	3	84,389	29,349	

(※3) 太宝鉱山(銅)[鳥取県]、鶴峠鉱山(銅)[島根県]、柵原鉱山(硫化鉄)[岡山県]